***記者会見資料***

株式会社　空間あい  ～あなたとあなたのまわりに愛と調和を～

代表取締役　新井　浄　　〒370-0087 高崎市楽間町280-14

k.arai@kuukanai.com

<https://kuukanai.com/>

Phone 090-1815-4608

**空間あい/大谷康子　　　　　チケット購入**





<https://kuukanai.com/>　　　　<https://shop.kuukanai.com/>

***「歌うヴァイオリン」***

高崎芸術劇場音楽ホール　２０２５年５月１４日　午後２時開演

大谷康子デビュー５０周年記念特別コンサート（２０２５年１月１０日サントリーホール）＜民族・言語・思想の壁を超えて未来に向かう音楽会＞
「私、大谷康子は来年2025年に楽壇デビュー50周年を迎えます。たくさんの方々のおかげで大好きなヴァイオリン活動を半世紀も続けてくることができてとても感謝しています。」
「音楽の力で世界を平和にしたい」という信条をもとに、様々な活動をしてきました。
この50周年にずっと大切にしてきた理念を形にしようと
「民族・言語・思想の壁を超えて未来に向かう音楽会」を開催することにしました。
振り返ると長年、一般的なコンサートの他にかわいい乳幼児にヴァイオリンを聴いていただくことや全国各地の病院や福祉施設に音楽をお届けしたり、自分でもびっくりするくらい色々なことをしてきてとてもここに書ききれません。
音楽を通して世界の人々がなかよくなっていけるように！
この思いをみなさまと広く深く共有して実現できますように。
大谷康子」と述べている。

今回、大谷康子が全国１４か所で、
「大谷康子デビュー50周年記念コンサート 大谷康子　イタマール・ゴラン　デュオリサイタル ～ブラームスの世界～」を開催する。高崎芸術劇場では、
 【日時】2025年5月14日（水）14:00開演（13:30開場）開催。
　大谷康子は、群馬県でも今までに数多くのコンサートを行っている。特に済生会前橋病院、院内コンサートは、１０回以上、その他群馬県民会館、前橋市民会館、高崎芸術劇場で行っている。
 　至高のデュオが再び奏でる、繊細かつ雄弁な極上のブラームスを聴いていただければ幸いです。
資料（写真）は、弊社ホームページ、ショップよりダウンロードできます。

大谷康子、デビュー50周年を迎えて

■大谷康子(ヴァイオリン)/Yasuko Ohtani, Violin
2020年にデビュー45周年を迎え、ピエトロ・グァルネリ(1708年製)での深く温かい演奏は「歌うヴァイオリン」と評される。これまでにソロ活動はもとより、モスクワフィル、シュトゥットガルト室内管、スロヴァキアフィル等、国内外の著名なオーケストラと多数共演。キエフ国立フィルとは2017年以降毎年共演し、2019年11月にも招聘が予定されている。
CDはベルリンでの録音による「R.シュトラウス/ベートーヴェン・ソナタ№5(ピアノ:イタマール・ゴラン)」(SONY)も評価が高い。その他多数リリース。
BSテレ東(毎週土曜朝8時放送)「おんがく交差点」では司会・演奏を務める。
2018年7月、自身初の著書「ヴァイオリニスト 今日も走る!」(KADOKAWA)を発売。
文化庁「芸術祭大賞」受賞。東京音楽大学教授。東京藝術大学講師。(公財)練馬区文化振興協会理事長。川崎市市民文化大使。高知県観光特使。(公財)日本交響楽振興財団理事。
オフィシャル・ホームページ [http://www.yasukoohtani.com](http://www.yasukoohtani.com/)
■イタマール・ゴラン(ピアノ)/Itamar Golan, Piano
イタマール・ゴランはリトアニアに生まれ、現代を代表する傑出した音楽家達とのパートナーシップを20年以上、永きに亘り築いてきた。これまでにヴェンゲーロフ、ギトリス、ヤンセンなど一流演奏家と世界各地のコンサート、音楽祭で共演を重ね、その演奏は高く評価されている。またソリストとしても、これまでにメータ指揮イスラエル・ フィルとベルリン・フィル、ムーティ指揮ウィーン・フィルなど著名な指揮者、オーケストラと多数共演している。CDはドイツ・グラモフォン、ワーナー・クラシックス、デッカなどより多数リリース。1994年からはパリ国立高等音楽院にて室内楽クラスの教授を務めている。
パリ在住。

**主催は、大谷康子デビュー５０周年実行委員会　マネージメントは、株空間あい**

　**プログラム　（トークもあり）**

**～ブラームスの世界～**

**クライスラー：愛の喜び、愛の悲しみ、美しきロスマリン
ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ第３番**

**クララ・シューマン：３つのロマンス**

**エルガー：愛の挨拶**

**ブラームス：ハンガリア舞曲第５番**

**マスネ：タイスの瞑想曲
サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン**

「ヴァイオリン大好き！」

　ヴァイオリニスト大谷康子が各所で掲げる、明快かつパワフルな宣言だ。この言葉を誰よりも体現し、関わる全員を笑顔にしてしまうようなポジティブなエネルギーを発散し続ける大谷が、今年デビュー50周年を迎えた。
　記念年の幕開けを飾った1月の50周年記念演奏会は、大谷を慕う数十人の音楽家が集う大規模なものだった。その豪華さや演奏の充実に留まらず、ソロ曲よりも合奏曲が多いプログラム自体に、出会いを大切にする大谷らしさが感じられた。さらに「ファシズムと戦争の犠牲者」に捧げられたショスタコーヴィチ弦楽四重奏曲第8番と、空襲で破壊されたドレスデンへの思いから作られたR.シュトラウス「メタモルフォーゼン」という、記念公演には異例の2作が選曲されたことは特筆したい。現在の世界情勢、しかも自身が直接関わりのある国々も絡む複雑な状況を憂慮し、もどかしい思いを記念の場のメッセージとしたのである。音楽の喜びを追求するからこそ、それがままならない状況が世界にあることにも、音楽を通して思いを馳せ続ける。
 　5月には、17日間で計14公演（クローズド公演を含む）というスケジュールの全国ツアーを敢行する。共演は世界的ピアニストのイタマール・ゴラン。ベルリンでのCD録音からたびたび共演を重ねて気心の知れた名人と、満を持してブラームスのヴァイオリン・ソナタを聴かせる。第3番は全公演で取り上げ、3つのソナタ全曲と彼が愛し続けたクララ・シューマンの「3つのロマンス」を合わせたプログラムもあり、濃密な世界に浸り続ける期間となる。
　ブラームスという選択は、いまの大谷に実にふさわしい。彼女自身、この作曲家について「伝統を守り、厳格な作曲技法を用いながら新しい手法も否定しない」と語る。これは彼女がMCを務めるBSテレ東『おんがく交差点』で、ジャンルも国も時代も楽器も問わず、あらゆるアーティストたちと心から楽しそうに共演する姿とも重なる。さらに付け加えれば、いかに複雑な感情がこもる作品であっても、全体では聴く人に大きな幸福感を与えるというブラームスの特長は、そのまま大谷という人間のあり方でもあるといえないだろうか。
　もちろん、ピアノが殊に重要な演目だけに、ゴランという最高の名手の存在も大きく、さまざまな状況がそろうこの上ない好機となる。東京、神奈川、群馬の関東圏以外にも、愛知、北海道、静岡、熊本と、日本中を巡るツアーで披露される、大谷康子の愛するブラームス。ヴァイオリンに人生を捧げる彼女の生き様と、最高のヴァイオリン名作の魅力、各地でぜひ共有してほしい。～ぶらあぼ２０２５年４月より
 **大谷康子デビュー50周年記念
大谷康子（ヴァイオリン）＆ イタマール・ゴラン（ピアノ） 全国ツアー
2025.5/10（土）14：00 高知県立美術館ホール**
問：高知県立美術館088-866-8000
**5/11（日）14：00 大阪/あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール**
問：大阪新音06-6926-4888
**5/13（火）19：00 宮城/宮城野区文化センターPaToNaホール**
問：HAL PLANNING 022-262-1682
**5/14（水）14：00 高崎芸術劇場 音楽ホール**
問：高崎芸術劇場チケットセンター027-321-3900／空間あい090-1815-4608
**5/16（金）13：30 横浜みなとみらいホール**
問：神奈川芸術協会045-453-5080
**5/17（土）14：00 愛知/宗次ホール**
問：宗次ホールチケットセンター052-265-1718
**5/18（日）15：00 Hakuju Hall**
問：Hakuju Hall チケットセンター03-5478-8700
**5/19（月）19：00 六花亭札幌本店ふきのとうホール**
問：オフィス・ワン011-612-8696
**5/21（水）14：00 18：00 静岡/札の辻クロスホール**
問：札の辻クロスホール054-204-0878 **5/26（月）18：30 くまもと森都心プラザホール**
問：KABイベント096-359-9051
[**https://yasukoohtani.com**](https://yasukoohtani.com/)